

令和元年度地域懇談会

開催回次	令和元年度第2回	開催月日	10月8日	開催校区	磯辺校区	開催場所	磯辺校区市民館
主な議題				市の回答			
<p>○ 豊橋バイパス・豊橋港 IC 乗り入れ口の交通渋滞緩和について</p> <p>国道23号は、平成25年度に豊橋東バイパスが開通し、豊橋市区間が繋がったことで磯辺校区から浜松、豊川、蒲郡の各方面への利便性が飛躍的に改善しました。</p> <p>しかし、その一方、豊橋港 IC 周辺の道路は混雑し、豊橋港インター交差点では、東三河環状線側から豊川、蒲郡方面へ向かう右折車線が頻繁に渋滞しています。渋滞解消の対策をとっていただくことはできないでしょうか。ご教示ください。</p>				<p>豊橋港インター交差点は、国土交通省が管理する国道23号と愛知県が管理する主要地方道東三河環状線の交差点です。</p> <p>東三河環状線側の渋滞対策について、愛知県に要望内容を伝え、事前に回答をいただいております。</p> <p>愛知県からの回答は、『当該交差点は、隣接する豊橋港インター東交差点との距離が近いため、右折車線の滞留長を伸ばすことが難しく、また、右折した先の国道23号のランプが1車線しかないことから、右折車線を2車線にすることも難しいので、物理的な対策をすることが困難な箇所であると認識しています。よって、信号のサイクルを、東三河環状線の右折車線に有利になるような見直しができるかを公安委員会に働きかけていきたいと考えています。』というものです。</p>			
<p>○ 都市計画道路一色高洲線の建設推進について</p> <p>一色高洲線は、市南西部における環状道路として、また、被災時には、基幹応急救護所となる「ほいっふ」と「市民病院」を結ぶ緊急道路としての役割が期待されています。さらに、磯辺校区では、津波から王ヶ崎町、神野新田町付近の住民が高台へ避難する経路としても期待しています。</p> <p>南海トラフ地震など、いつ起こるか分からない災害に備え、一刻も早く建設を進めていただきますようお願いいたします。</p>				<p>都市計画道路一色高洲線は、「ほいっふ」から一般県道大山豊橋停車場線までが豊橋市の事業であり、一般県道大山豊橋停車場線から柳生川南部土地区画整理事業区域までが愛知県の事業であります。</p> <p>豊橋市では、「ほいっふ」側から約350m区間を1期事業とし、平成29年度より国の交付金事業として用地買収を始めております。</p> <p>昨年度には、1期事業区間の用地買収が完了し、今年度より、本路線から松島排水路の各支線排水路までの既設側溝を改修する工事に着手し、来年度から本路線の工事に着手する予定です。</p> <p>残りの区間につきましては、一般県道大山豊橋停車場線との交差点改良が必要となることから、愛知県と同調し整備を進める予定であり、交差点形状や整備時期等、愛知県と調整してまいります。</p> <p>地域の皆様におかれましては、用地協力や工事中の通行規制等、事業の進捗にご協力をお願いします。</p>			
<p>○ 磯辺小学校通学路の交通安全について</p> <p>磯辺校区には、東西方向を繋ぐ主要道路が少ないことから、国道259号線の渋滞を避け生活道路に侵入する車両が多く見られます。特に内張町以西の内張川右岸沿いの通学路は、車がすれ違いうことができないほど道幅が狭い箇所があり、歩道もないことから非常に危険な状況です。</p> <p>地域として、通学路の主要な交差点に見守りボランティアを配置しておりますが、登校時は通勤時間が重なることから特に交通量が多く、また、この通学路を利用する児童も近年増加していることから、十分な対応ができているとは言えない状況です。</p> <p>児童の安心、安全な通学路を確保するためにできる対策について、ご教示ください。</p>				<p>現地の通学路状況を確認しましたところ、内張川右岸沿いをアイプラザ豊橋方面から南下してくる多くの車両が侵入してくる状況でした。</p> <p>安全を確保する対策としまして、現在の通学路に交通規制をかけることや内張川左岸堤防を通学路として整備、全体的な通学路の見直し等、多くの方法が考えられます。</p> <p>現在、通学路である内張川右岸の交通規制について公安委員会に相談しております。</p> <p>また、内張川左岸堤防を通学路として使用したいという地域からの要望も愛知県に伝え、整備可能か相談しております。</p> <p>今後、市と致しましても、児童の安心、安全な通学路の確保に向け、地域の方々と共に、より良い対策を考えてまいります。</p>			